

北海少年院



北海少年院の概要

所在地：北海道千歳市
 収容定員：150名
 少年院の種類：第1種少年院
 収容対象：主に札幌高等裁判所管内の家庭裁判所において少年院送致決定を受けたおおむね12歳以上の男子
 敷地面積：162,798㎡

地域と連携した取組

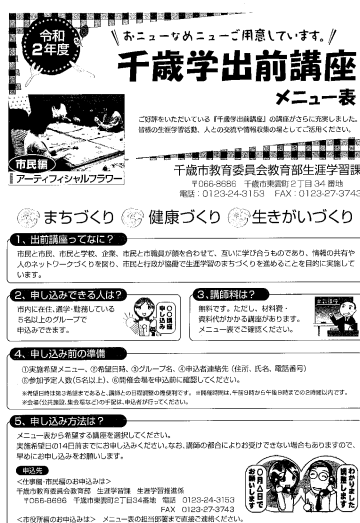
【千歳学出前講座】

・当院では、分院である紫明女子学院とともに「千歳学出前講座」に登録しています。
 ・「千歳学出前講座」とは、市民と市民、市民と学校、企業等が顔を合わせて互いに学び合い、情報の共有や人のネットワークづくりを図り、市民と行政が協働で生涯学習のまちづくりを進めることを目的に実施している取組で、千歳市内の企業、団体及びグループによる450講座が登録されています。

（当院で登録している講座）

・当院では、日々在院者に指導している「セカンドステップ講座」、「マインドフルネス講座」を登録し、少年院が有する知見を地域の皆様に還元する取組を実施し、本年度も官公庁の職員様向けの研修を実施しています。

・少年院の取組を題材に、地域の皆様と協働した学びを今後も展開してまいります。



千歳学出前講座メニュー表

講座番号	講座名	内容	時間	実施機関
44	コミュニケーション能力の向上を図るために（セカンドステップ講座）	衝動的、攻撃的な行動を和らげ、コミュニケーション能力の向上を図ることについてお伝えします ※成人のみ	平日9時～17時（1～2時間程度）	北海少年院
45	怒りに振り回されないために（アンガーマネジメント講座）	怒りに振り回されるのではなく、怒りと上手に付き合う方法についてお伝えします	平日9時～17時（1～2時間程度）	紫明女子学院
46	気持ちの上手な伝え方（アサーション・トレーニング講座）	周囲の人と良い人間関係を築くための、気持ちの伝え方についてお伝えします	平日9時～17時（1～2時間程度）	紫明女子学院
47	心を穏やかに、元気に過ごすために（マインドフルネス講座）	過去や未来にとらわれ、心や体が疲れてしまわないように、「今」に目を向けることの大切さについてお伝えします	平日9時～17時（1～2時間程度）	北海少年院 / 紫明女子学院

当院で登録している講座

在院者による社会貢献活動

【点訳絵本の制作・寄贈】

・当院では、特別活動指導として、「点訳指導」を行っています。専門家の指導の下点訳を学び、点訳絵本を制作して、千歳市点字図書館へ寄贈しています。
 ・社会に「恩返しを」の気持ちで、手に取って読んでいただく人の気持ちを想像しながら、在院者一人一人、熱心に取り組んでいます。

沿革

昭和17年 1月 札幌市苗穂町に開設
 18年 7月 千歳市大和に新庁舎が完成し、移転
 60年12月 現在地に新築、移転
 平成26年 4月 組織改編（当院が本院、紫明女子学院分院）
 27年 6月 新少年院法施行（男子の第1種少年院に指定）
 令和元年 9月 短期課程を新設



札幌市苗穂町当時



昭和18年竣工当時

施設の特徴

【性非行防止指導の重点指導施設】

・北海少年院は、特定生活指導（性非行防止指導）の重点指導施設とされており、道外からも受講者を一時的に受け入れ、専門的なプログラムを実施しています。

【資格取得】

・また、職業指導でも他の施設からも在院者を受け入れ、**土木・建築科**、**介護福祉科**の専門的な職業指導を実施し、大型特殊自動車第一種免許、介護職員初任者研修修了証などの資格取得につなげています。



土木・建築科

【本院・分院間交流】

・分院である紫明女子学院が隣接しており、男子施設・女子施設それぞれの特長を生かした施設間交流が活発に行われています。



介護福祉科

最近のトピック

【千歳市との災害協定】

・千歳市は、新千歳空港を有しており、北海道の玄関口であり、非常に多くの観光客の皆様が訪れる都市です。
 ・そのため、令和元年12月18日、災害により、観光客等帰宅困難者が発生した場合に、**北海少年院及び紫明女子学院の施設の一部を一時滞在施設として使用すること及び市の行う災害対策に協力し、市民等の安全確保を図ることを目的として、災害協定（災害時における一時滞在施設等に関する協定）を締結**しました。今後も、地域との協力体制を築き、地域の安心・安全に貢献してまいります。



千歳市×北海少年院 災害協定締結式



点訳絵本の製作



完成した絵本



点字図書館への寄贈